

独立行政法人 経済産業研究所 (RIETI)



BBLセミナー プレゼンテーション資料

2019年2月20日

「中国ベンチャービジネスの動向」

大川 龍郎

<https://www.rieti.go.jp/jp/index.html>



中国ベンチャービジネスの動向

2 0 1 9 年 2 月

N E D O 北 京 事 務 所

※ 本講演は講演者個人の意見であり、NEDOとしての意見を代表するものではない。¹

中国のベンチャー集積は深センよりも北京に注目

ベンチャー投資はややしぼりぎみ

BAT等のITジャイアントを中心にCVCの存在感が増す

→ ベンチャー・スタートアップの「ケイレッツ化」が進む

動きが見えにくくなっているが、中国のベンチャー・イノベーションは引き続き注目すべき

世界を騒がせたシェアリング経済のその後

中国ベンチャーの最近の動向事例

中国の新4大発明

(2017年ごろによく聞いた)

モバイルペイメント



シェアリング自転車



高速鉄道



ネット通販



京东
JD.COM

シェア自転車の使い方

- 中国のシェア自転車市場は、2016年後半から爆発的に拡大。
- 最大の特徴は「**街中のどこでも乗り捨て可能**」であること。
- 料金は「30分以内は1元（≒16円）」。

- ① 道ばたに放置されているシェア自転車を見つける
- ② 専用のアプリで自転車の2次元バーコードを読む
→ ロックが自動で開く※
- ③ 自転車のロックをかける
→ アプリに料金が表示される
→ 使い終わった自転車は、歩道等に放置



自転車に乗る



※ 上記はシェア自転車大手の「モバイク」の場合の使い方。もう一方の大手のofoの場合には、自転車に表示されている車両番号をアプリ入力すると、その車両の鍵の番号が表示される。使用者は、自転車の鍵を自分で解錠する。

シェア自転車の主要企業

ofoとモバイク

モバイク 愛称「小橙車」 (オレンジチャリンコ)



- 2014年に元新聞記者の胡氏がプロジェクト開始。
- 2015年にUber上海地区総経理の経験を持つ王晓峰氏がCEOとして加入し、事業が具体化。
- 2016年4月に上海から事業開始。

(主要な投資者)

- テンセント
- テマセク
- フォックスコン
- シートリップ

ofo 愛称「小黄車」 (黄色チャリンコ)



社名は、「ofo」が自転車の形に見えることに由来。

- 2014年創業。
- 2015年6月に北京大学構内で学生と教員向けに構内移動用のシェア自転車を提供。1年以内に、学内で2000台を保有し、1日利用回数が10万回を突破。
- 2016年11月から大学外の北京市内に展開。

(主要な投資者)

- 滴滴出行
(ディディ：ネット予約タクシー最大手)
- 小米科技 (シャオミ スマホ製造大手)

中国シェア自転車企業の海外撤退が続く



モバイク 愛称「小橙車」
(オレンジチャリンコ)



海外展開は思うように進まず。

例 日本は2017年末までに10都市
を目標にしていた。

ofo 愛称「小黄車」
(黄色チャリンコ)



社名は、「ofo」が自
転車の形に見えるこ
とに由来。



一時期は海外20か国に進出

2018年には中国以外の国の大半
から撤退と報道される。

シェア自転車市場 撤退相次ぐ



- シェアリング自転車は2017年の最盛期に40社以上が参入。
- しかし2017年後半から徐々にシェア自転車のプラットフォームから撤退する企業が増加。
 - デポジット（1700～5000円程度）が返金されない
 - 撤退した事業者のシェア自転車が街中・郊外に放置される

シェア自転車プラットフォームの経営悪化時期

プラットフォーム	登記都市	設立時期	経営悪化時期
3vbike	北京	2015.12	2017.06
悟空単車	重慶	2016.09	2017.06
町町単車	南京	2016.11	2017.08
小鳴単車	杭州	2016.07	2017.11
小藍単車 Blue GoGO	天津	2016.10	2017.11
酷奇単車	北京	2016.11	2017.11

Blue GoGoの撤退後に放置されるシェア自転車

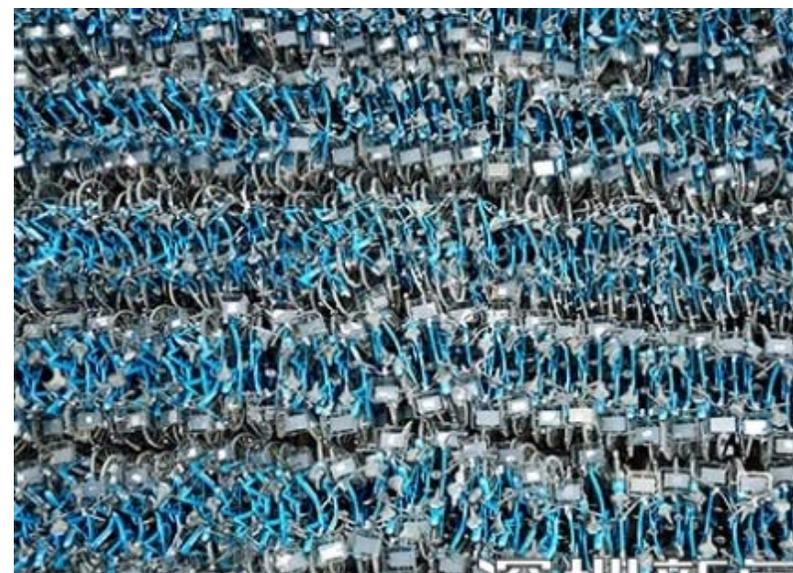
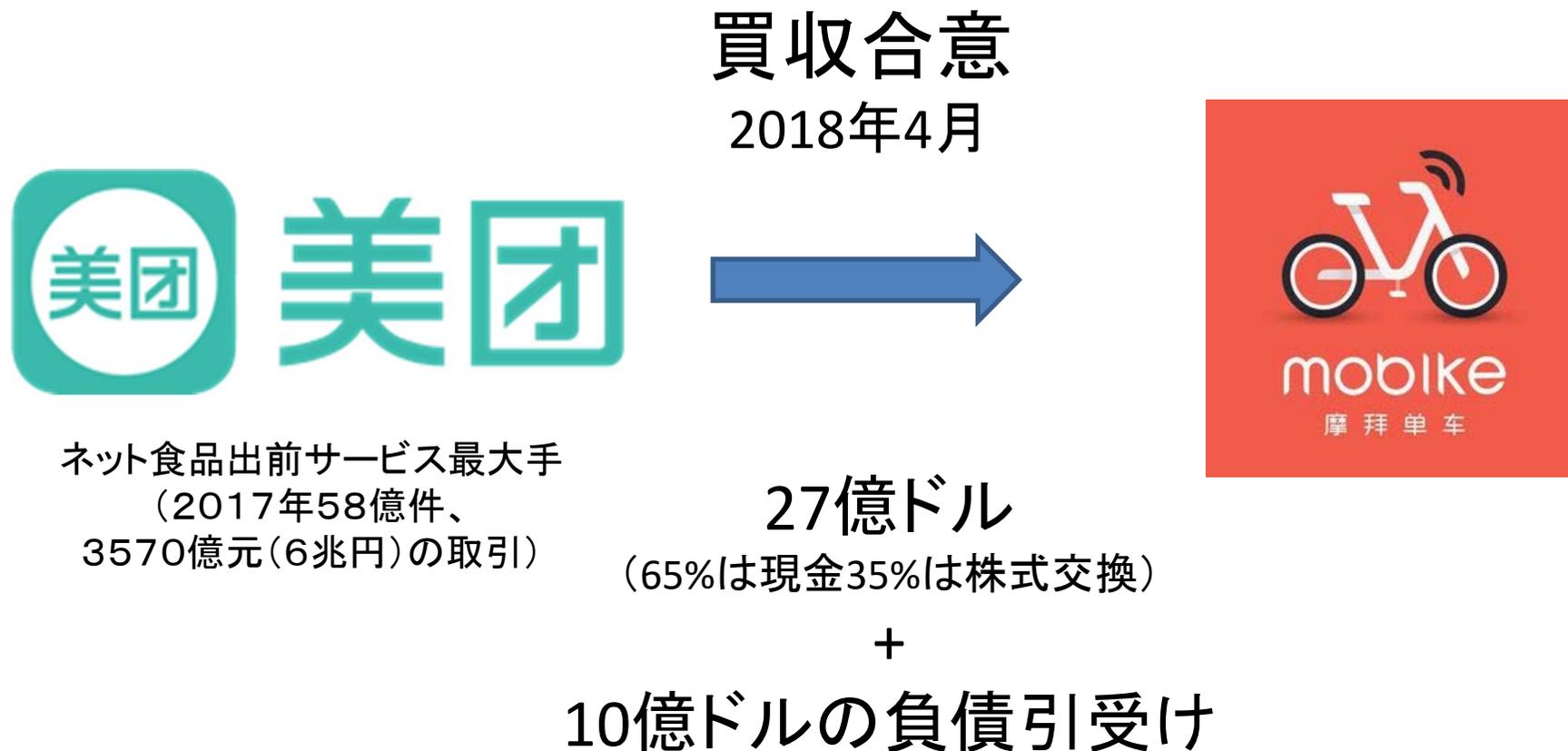


写真: 深セン新聞網

シェア自転車市場 モバイクが買収される

- 2018年4月、シェア自転車最大手の一つモバイクが、ネット食品出前サービス大手の「美团 メイタン」に買収される。



シェア自転車市場 モバイク買収の背景



モバイクの1日当たりの全乗車人数・1台当たり利用回数
全利用者数も一台当たり回転数も低下傾向とのうわさ

毎月の運営支出



毎月の運営支出

4億円
(約70億円)

- 業界全体では
 - ・ 200万台以上の自転車
車を投入
(稼働率は50%以下との報道)
- 3.5万人以上の自転車
整理要員を雇用

4月頃ネット上で出回ったモバイクの内部資料とされる文書(真偽は不明。)

シェア自転車市場 新たな買収・出資の動き



- アリババ、ディディ、美团などが中心となり、2018年以降もシェアリング自転車業界で積極的な買収・出資。
- 2018年以降の資金投入の特徴は、それまでの資金投入に比べて規模が大きく（1000億円単位）、また投資対象企業が上位数社に絞られていること。

アリババ系



2017年12月にアントファイナンス、フォックスコンなどとともに**3.5億ドル**の投資。



2018年3月にアントファイナンスなどは**8.5億ドル**の投資。



シェア自転車3位



シェア自転車1位

ネット予約タクシー最大手



一度破たんしたBlueGOGOに対して、18年1月業務委託提携。Blue社からデポジットが返ってこないユーザーに対して滴滴の利用券を支給。



ネット宅配最大手



2018年4月に**37億ドル**で買収合意。



シェア自転車2位

ネット出前サービス

- 中国のネット出前サービスの市場規模は巨大であり、2016年には
 外食産業の1割以上に達している。
 - 金額 3500億元 / 年 (≒ 5.7兆円 2016年)
 - 回数 1000万回 / 日 (2016年)

昼食時の北京の道路は出前の電動バイクが多数往来



ネット出前サービス トップ3社の動向



2017年8月までのネット出前サービスのシェア



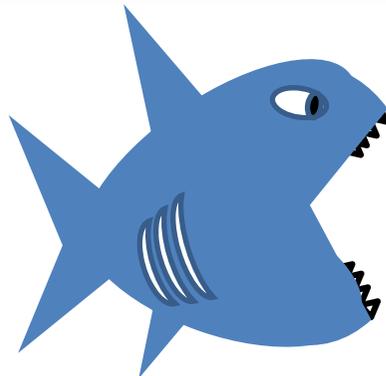
シェア1位 41%
登録ユーザー2.5億人
時価総額300億ドル



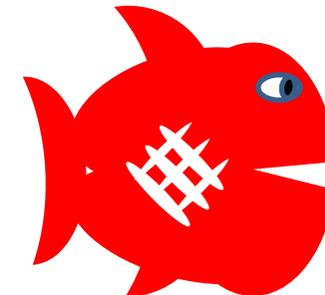
Tencent 腾讯
テンセントが
20%程度を
保有

シェア2位 35%


Alibaba.com
アリババが
43%保有



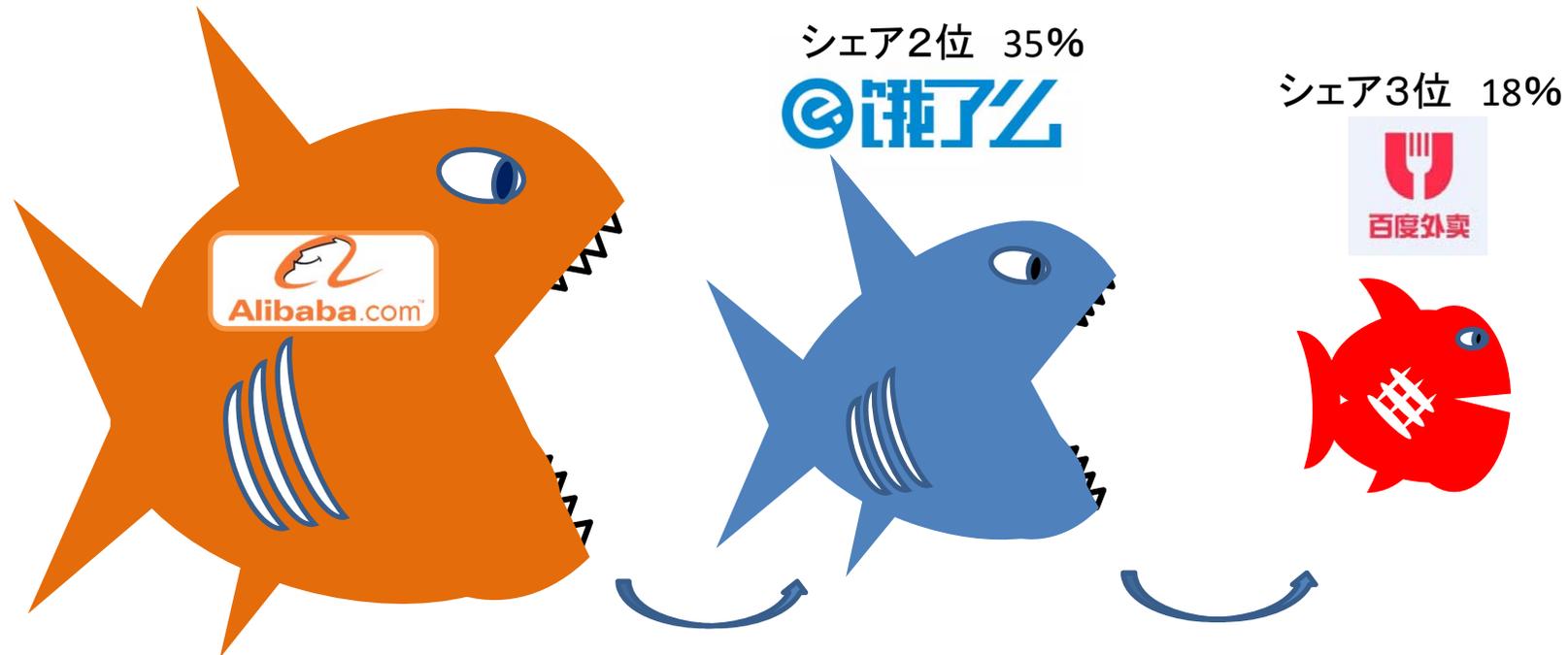
シェア3位 18%



ネット出前サービス トップ3社の動向



シェア1位 41%
登録ユーザー2.5億人
時価総額300億ドル



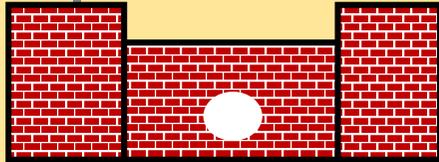
2018年4月

アリババが、「ウーラマ」を完全子会社化。「ウーラマ」が「バイドゥ外卖」を8億ドルで買収。
企業価値を95億ドルと算定。

2017年8月

モビリティサービスを巡る覇権争い

タクシー配車市場

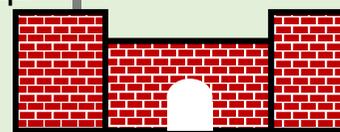


2018年1月に対して滴滴が支援を開始。

2016年10月にシャオミと1.3億元、17年3月に4.5億元投資。

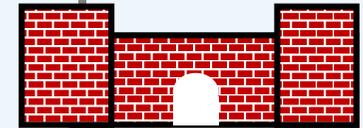
2017年12月に無錫市でネット出前業務を開始。無錫市の30%のシェアを獲得。

ネット出前市場

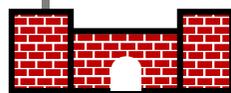


2017年12月に北京、上海など7都市でタクシー配車事業を開始。

2018年4月に美团がモバイクを買収。



バイドウ外

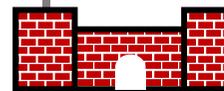


BlueGoGo

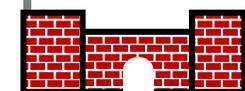


ofo

シェア自転車市場



モバイク



ハローバイク



個人間のネットワークとスーパーアプリ

買収や連携の起こる背景

ポータル争い ワンストップサービスのためのサービス種類の拡大

- アリババやテンセントは、自らの有力アプリの上で顧客が必要とするすべてのサービスをワンストップで提供することを目指していると考えられる。

テンセントの主力APP「WeChat」のウォレットページ

鉄道、公共サービスなどを除き、アクセス可能なサービスのほとんどはテンセント出資企業



ポータル争い ワンストップサービスのためのサービス種類の拡大

- テンセントとアリババを中心に行われる「スーパーAPP（超級APP）」を使った自社サービスへの囲い込みの進展。

中国の利用者数・利用回数の多いアプリのランキング（2017年6月）

ランキング (DAUベース)	アプリ	DAU (Daily Active User)	ユーザー1日の アクセス回数
1	WeChat(テンセント)	5.4億	8.0回
2	QQ (テンセント)	4.0億	8.3回
3	タオバオ(アリババ)	1.9億	3.6回
4	アリペイ(アントファイナンス)	1.5億	4.6回
5	搜狗IME	1.5億	7.7回
6	テンセントビデオ	1.1億	
7	新浪ウェイボー	1.1億	
8	WiFi万能鍵	1.0億	3.9回
9	QQブラウザ(テンセント)	0.9億	
10	テンセント新聞	0.9億	
11	モバイルバイドゥ	0.9億	

資料:極光大データ(オーロラビッグデータ)

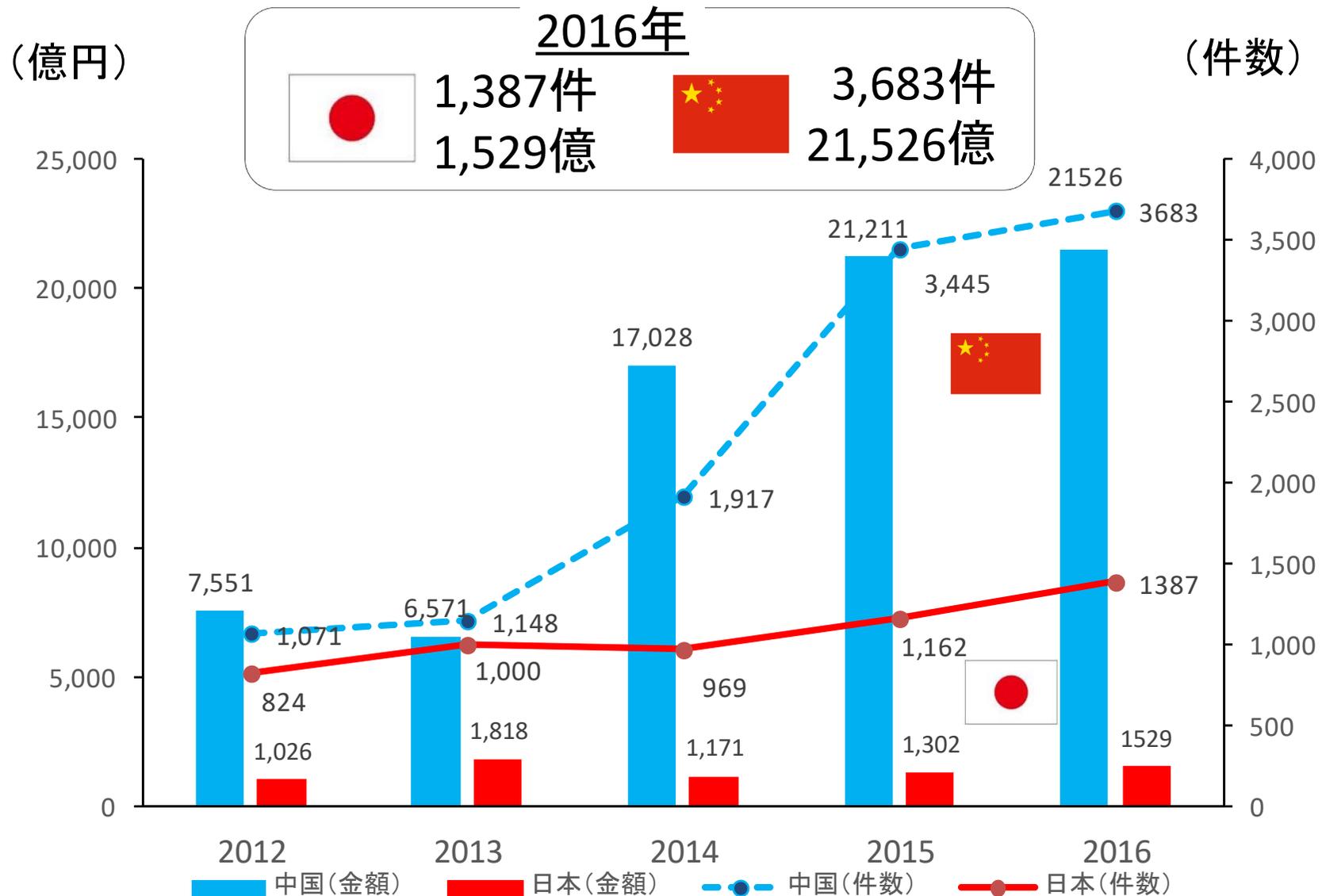
シェアリング分野でのアリババ・テンセントのエコシステム

アリババ アントファイナンス 	テンセント 
タオバオ・天猫 	ネット通販  ジンドン
デイディ 	タクシー配車  デイディ
ofo、 ハローバイク  	シェア自転車  モバイク
ウーラマ 	ネット出前  美团点評
来电 	シェアバッテリー  小電科技 小電科技は、2017年4月にテンセントから投資を受けた。 2018年3月にも他社から3.5億元(60億円)の投資を受けている。

世界で存在感を増す中国のユニコーン企業

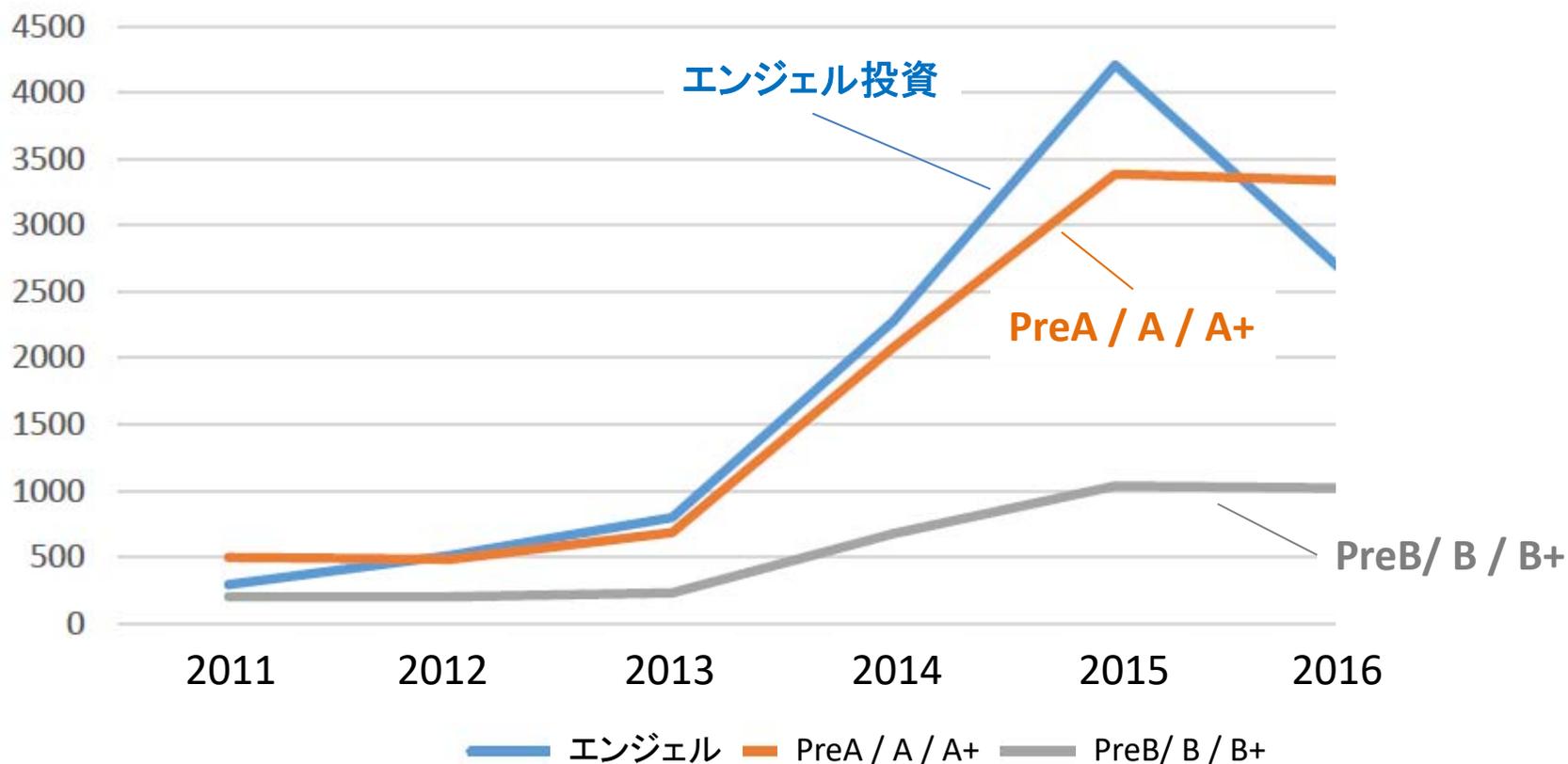
中国ベンチャーの最近の状況

ベンチャー投資実行額と案件数の日中比較



資料出所：一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター「ベンチャー白書2017」

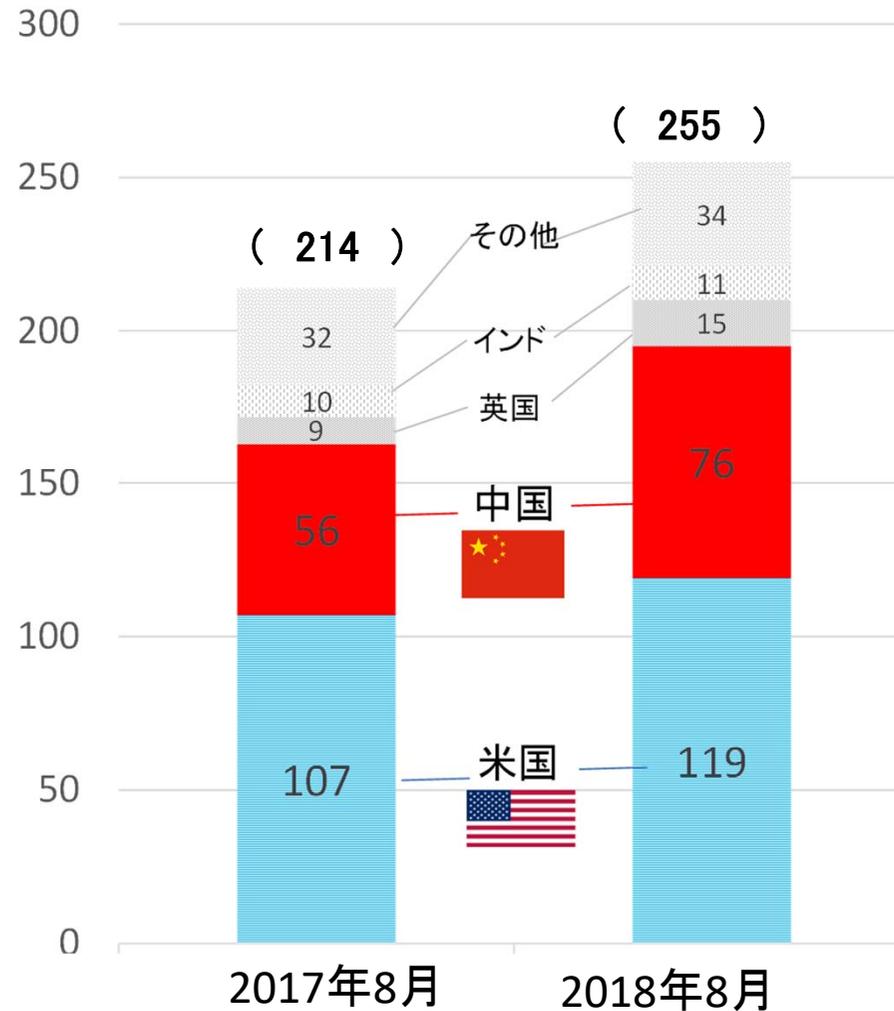
中国のステージ別のベンチャー投資の推移



資料出所：調査会社「IT桔子」のデータを用いてArkコンサルティング（北京）が整理したもの

世界で存在感を増す中国のユニコーン企業

国別の「ユニコーン企業」の数の1年間の推移



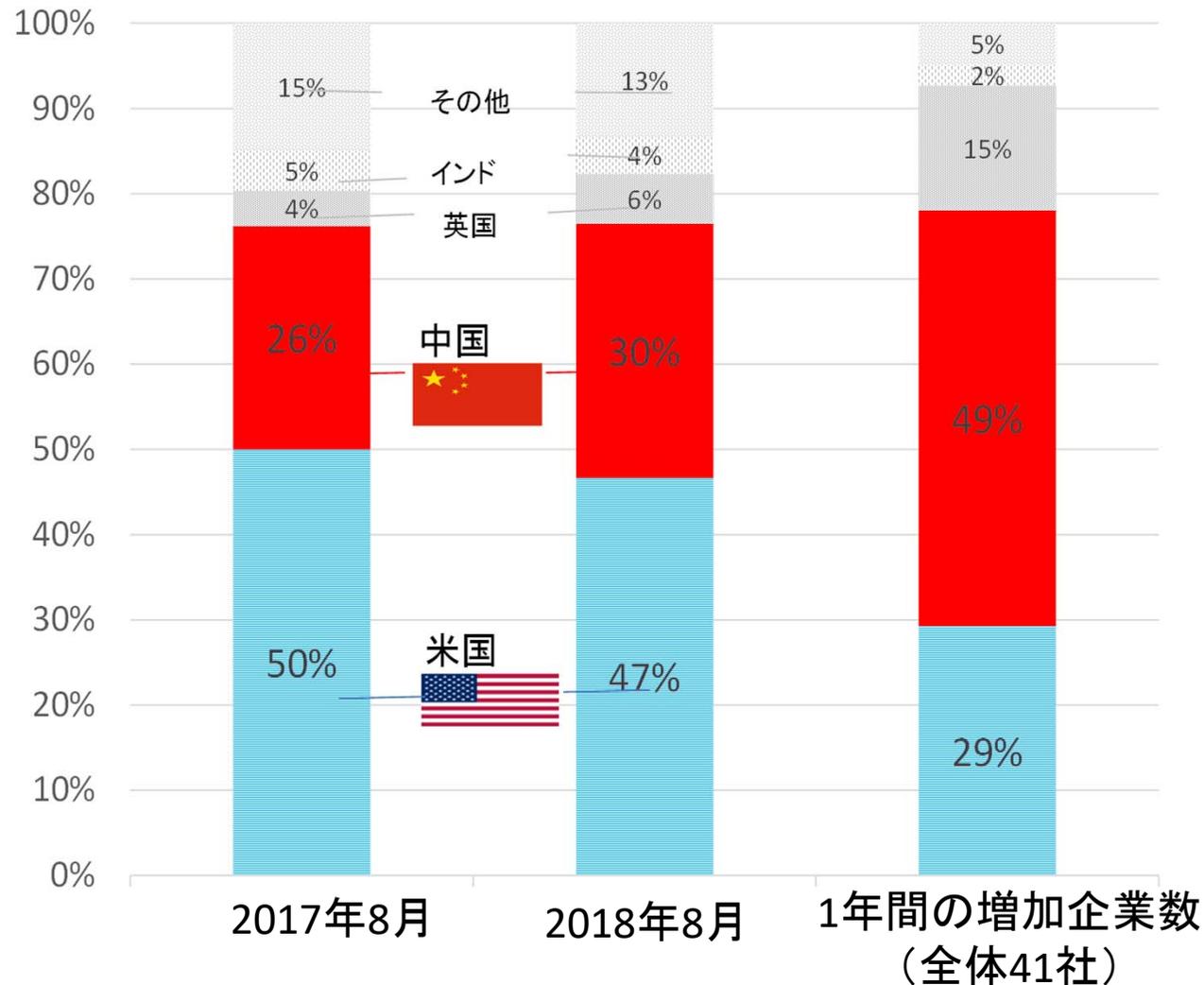
資料: CB Insight「The Global Unicorn Club」をもとにNEDO北京事務所が加工

<https://www.cbinsights.com/research-unicorn-companies>

両年のそれぞれ8月時点のデータを比較。2018年8月時点で10社以上のユニコーン企業がある国を掲載。

世界で存在感を増す中国のユニコーン企業

国別の「ユニコーン企業」の数の1年間の推移



資料: CB Insight「The Global Unicorn Club」をもとにNEDO北京事務所が加工

<https://www.cbinsights.com/research-unicorn-companies>

両年のそれぞれ8月時点のデータを比較。2018年8月時点で10社以上のユニコーン企業がある国を掲載。

中国のユニコーン企業はBtoCに多い



中国の「ユニコーン企業」のカテゴリ別の数

		2017年8月		2018年8月		
B to C	eCommerce/Marketplace	15	30	19	42	
	Retail			1		
	Edtech	4		6		VIP Kids、
	On Demand	5		6		滴滴出行、途家、ofo、ハローバイク
	Social	3		3		
	Healthcare	2		4		
	Facilities	1		1		
	Food & Grocery			2		
B to B	Real Estate	2	5	2	7	
	Supply Chain & Logistics	1		3		マンバン
	HR & Workforce Management	1		1		
	Adtech	1		1		
Hardware	Hardware	5	9	5	10	DJI、美図
	AutoTech	1		1		NIO
	Chips & Semiconductors	1		1		カンブリコン
	Clothing & Accessories	1		1		
	Robotics	1		1		
	Biotechnology			1		
Software	Internet Software & Services	3	6	4	11	
	Computer Vision/ AI	1		4		バイトダンス、センスタイム、Face++
	Digital Media	1				
	Mobile Software & Services	1		1		
	Cybersecurity			1		
	Block Chain			1		
Fintech	Fintech	6	6	6	6	

資料: CB InsightのデータをNEDO北京事務所にてカテゴリ分け。

2017~18年にどんなユニコーン企業が増えたのか？

もっとも増えたのはB to C (30社→42社)

- エドテック (4社→6社)

例 **VIPKID** ネットを使った英会話教室

B to Bでは「サプライチェーン・ロジスティクス」が増加 (1社→3社)

- 例 **満帮集団 (マンバン)**

ソフトバンクも投資するトラック界のディディ

人工知能関連企業も大幅増加 (1社→3社)

- 例 **Face++**

アンドロイド携帯の多くに採用される顔認証
公安が監視カメラ画像のチェックなどにも活用



- 例 **今日头条・バイトダンス**

AIを使ってユーザー一人一人の好みに合ったニュースを
ピックアップ。日本ではショートビデオ共有の“TikTok”で有名



Tik Tok₂₇

B to Cのビジネスが活発になる背景



○人口 約13.8億人

○ネット利用人口 約7.4億人

○モバイルネット利用人口 約7.0億人

※ インターネット利用人口は、中国インターネット情報センター
「中国インターネット発展状況統計報告(2016年12月時点)」

○アリペイ(モバイル決済)

・上海の一人当たり利用額(年) 約14.8万元
(230万円)

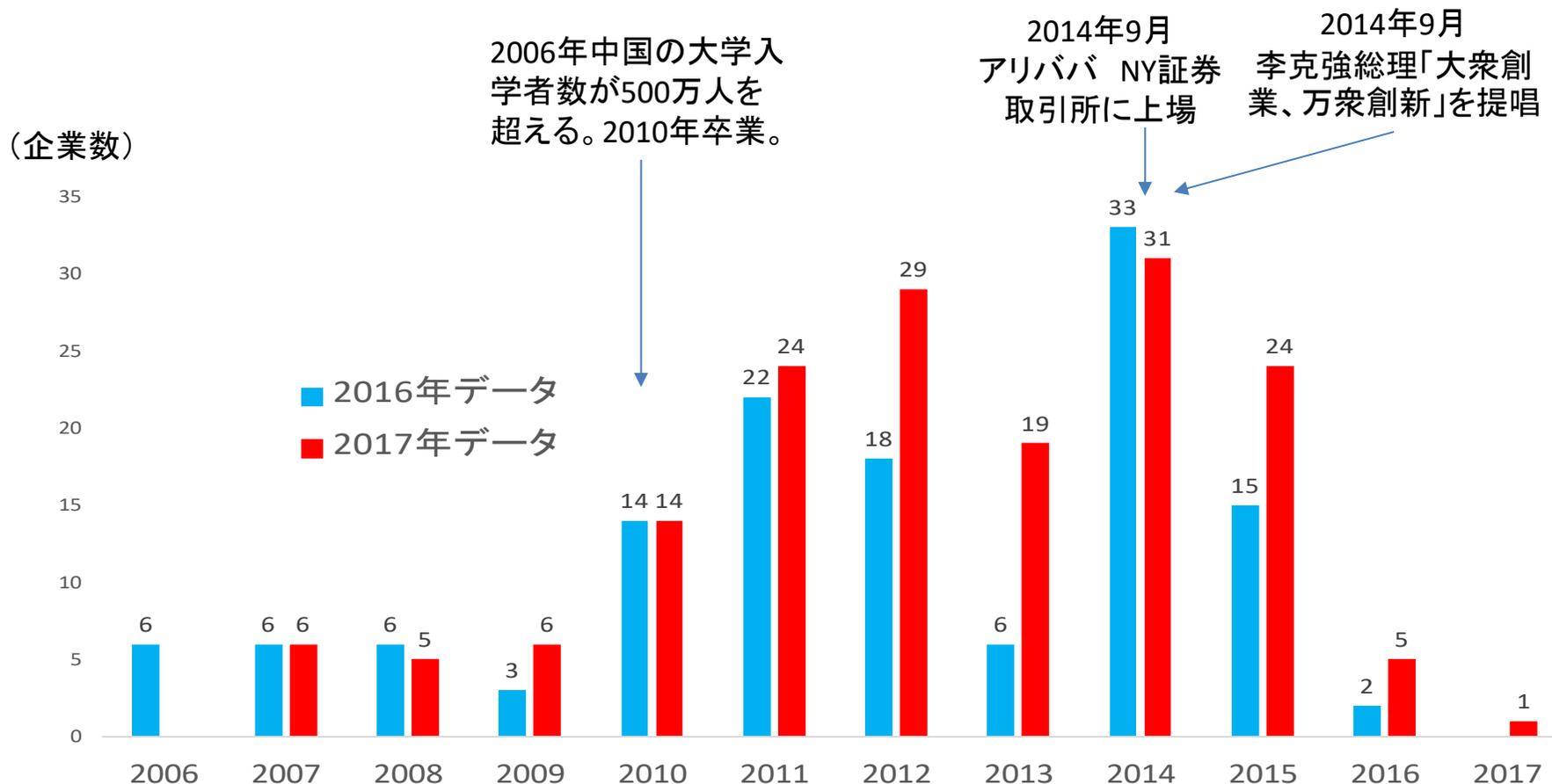
・北京、浙江省、福建省、江蘇省での利用額 10万元台
(160万円)

・トップ50大学の学生年間利用回数 670回²⁸

中国のユニコーン企業の創業時期

- 2010年から14年に創業した企業が中国ユニコーン企業を中心。

中国の「ユニコーン企業」の創業時期



資料： 科学技術部炬火センター 中国独角兽企業発展報告(2016年版、2017年版)

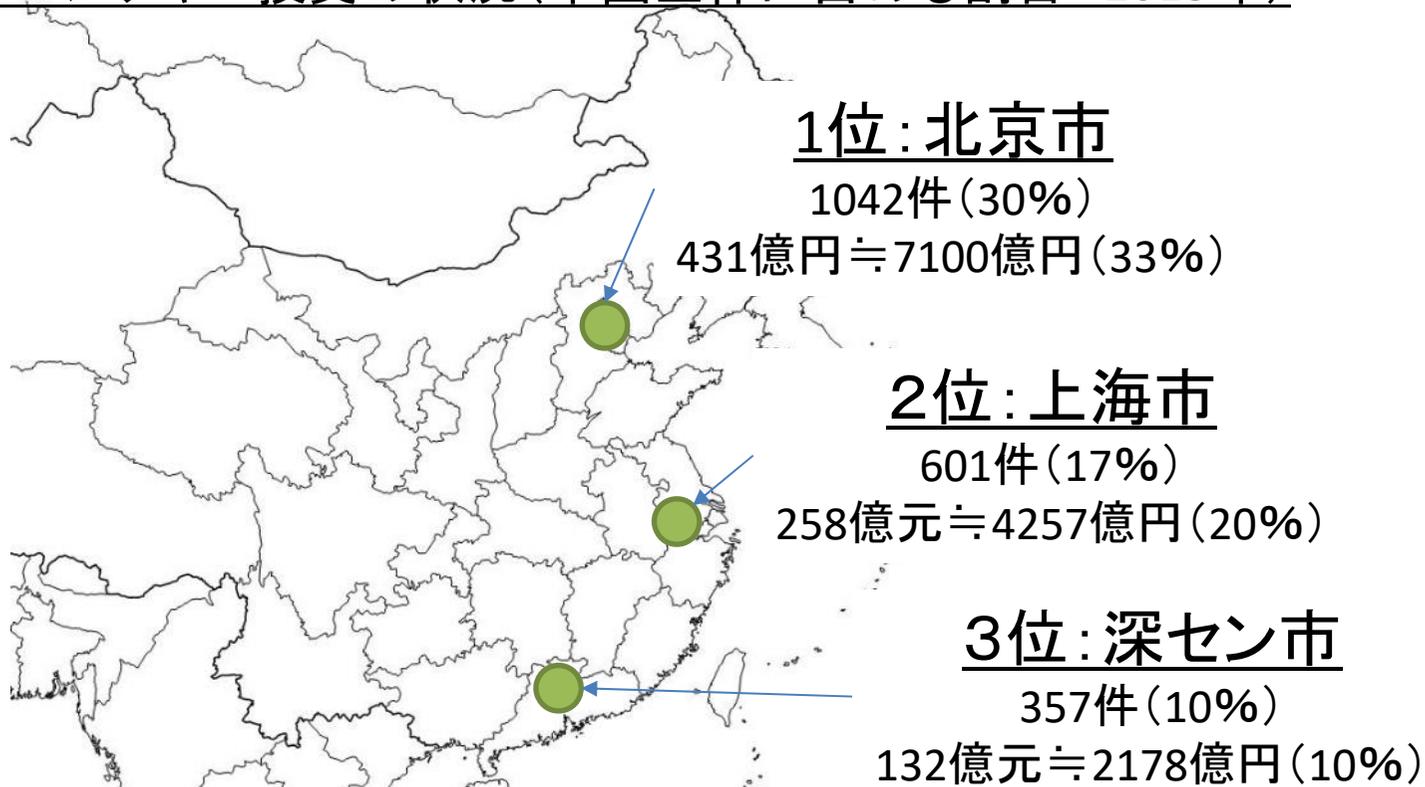
注： 前出のCB Insightなどの「ユニコーン企業」と定義が異なることに注意を要する。
例えば、アリババの物流部門として出発した「菜鳥」などの企業も、
時価総額10億ドル、創業10年未満であればユニコーン企業としてカウントされている。

中国ベンチャーの最大の集積地は北京

地域別に見た中国ベンチャー

中国のベンチャー投資の状況 地域別

都市別のベンチャー投資の状況(中国全体に占める割合 2015年)



	案件数	割合	投資額が明らかな 案件数	投資金額 (億元)	割合
北京市	1042	30.20%	909	431	33.30%
上海市	601	17.40%	538	258	19.90%
深セン市	357	10.40%	326	132	10.20%
浙江省	289	8.40%	259	99	7.70%
江蘇省	258	7.50%	247	96	7.40%

資料出所：清科研究中心「2016年上半年中国株式投資市場発展」

北京市のリソース 有力大学の多さ

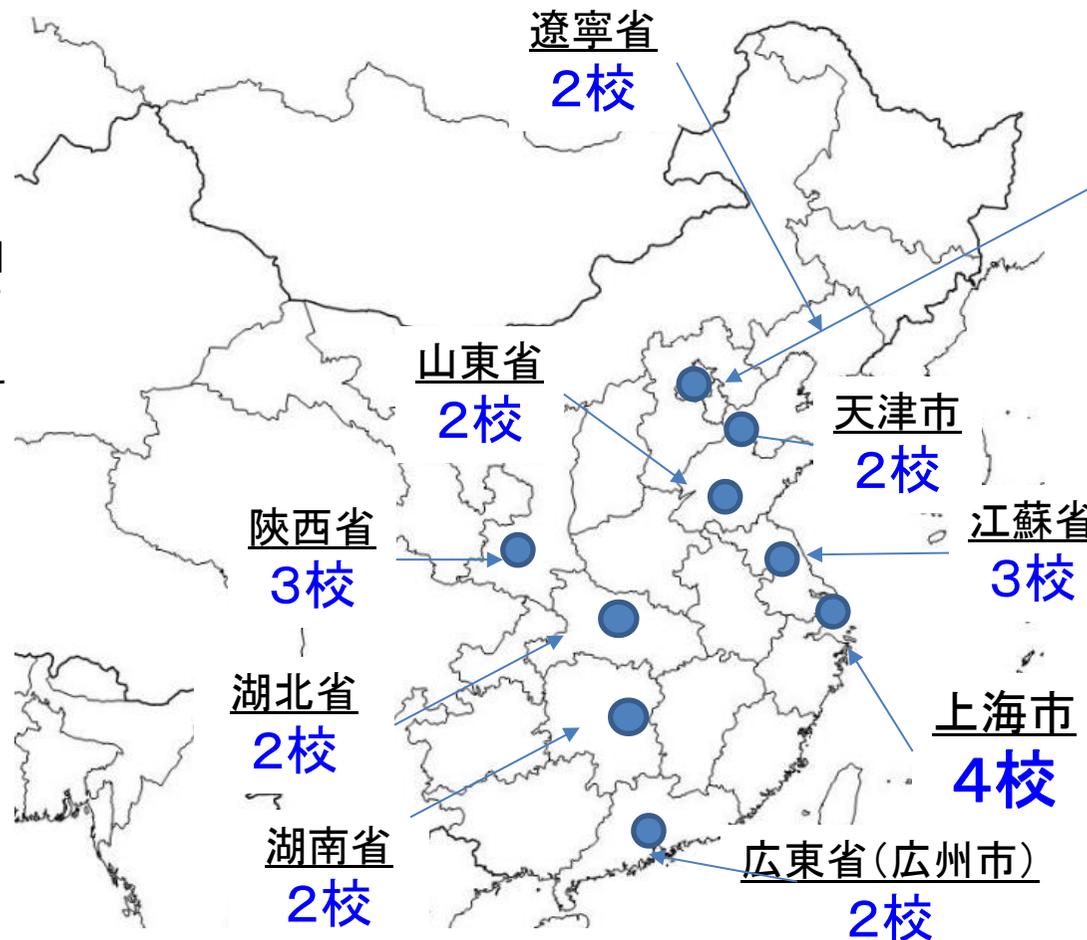
985プロジェクトで定められた「39大学」の立地

985プロジェクト

1998年5月に当時の江沢民主席が打ち出したプロジェクト。

世界一流の大学および国際的に高い知名度を有する一群のハイレベルの研究型大学の構築を目指すもの。

99年から06年までに39大学が選定され、予算の重点配分などの措置が取られた。



北京市 8校

- 北京大学
- 中国人民大学
- 清華大学
- 北京航空航天大学
- 北京理工大学
- 中国農業大学
- 北京師範大学
- 中央民族大学

中国のベンチャー投資の状況 北京



- 北京は中関村エリアを中心に多くのスタートアップが立地。
- 中関村を中心としたエリアに清華大学、北京大学などを始めとする有力大学が立地し、人材を輩出していることが最大の強み。
- 多くのVCの本部も立地し、投資を受けやすい強みもある。
- 人口知能分野では、中国最大の400企業が立地しているとされる（2017年12月北京市発表）。

北京全体図



地図：
百度地図

北京・中関村エリア



大学が直接創業支援を行う例

清華大学の3大子会社のうちのひとつTUSグループ

(概要)

- 清華大学の3大子会社のひとつ。
あとの2つは紫光、同方。
- 株主は45%が清華大学。
- 総資産3.5兆円（2018年9月）
- 運用ファンド60本、1兆円
（EVのBYTONにも投資）

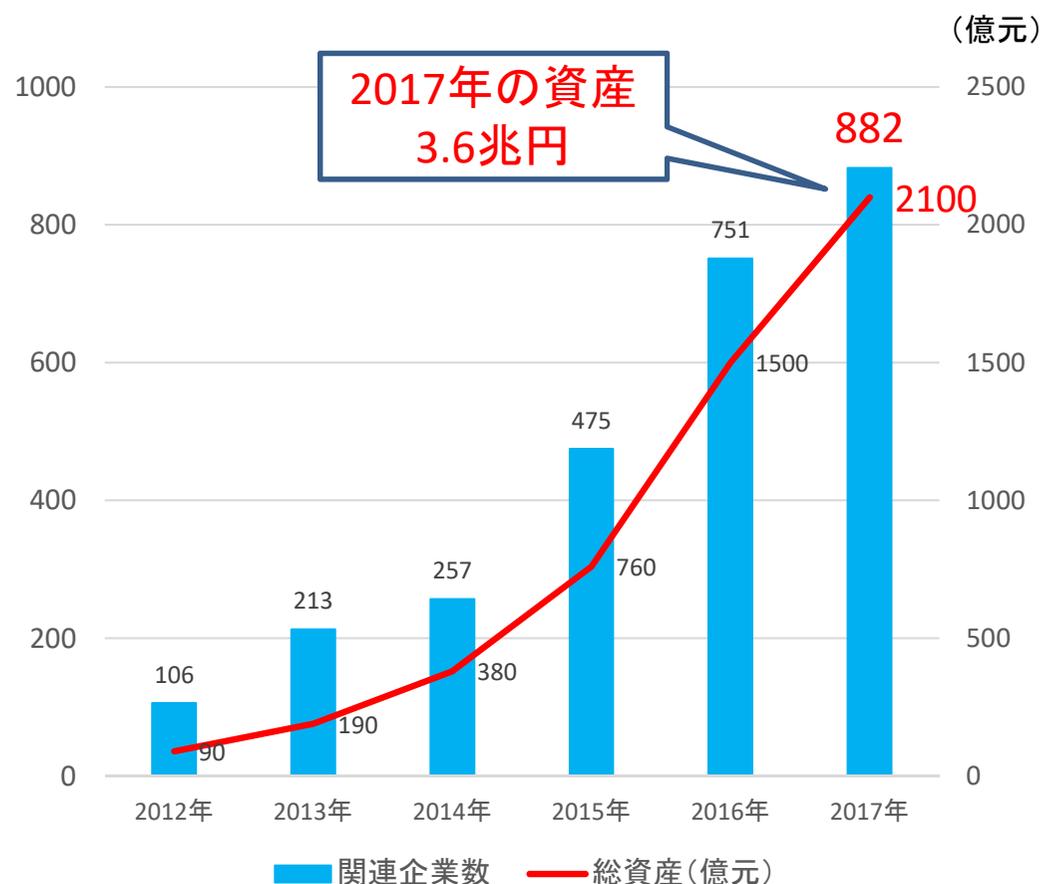
(事業内容)

- ① サイエンスパークの運営、
 - ② 科学技術関係産業、
 - ③ 科学技術関連のファイナンス
- その他スキー場から新エネ発電の投資まで幅広く行う。

(ベンチャー支援)

- ① インキュベーション施設の運営、
- ② エンジェル投資、
300社に20億元（360億円）を投資
- ③ 起業のためのトレーニング

TUSグループの総資産（右目盛り）と関連企業数（左目盛り）



モノ：衆創空間の事例

清華大学傘下の衆創空間“Tus Star”

(施設概要)

- Tus Holdingsは清華大学の4つの子会社の1つ。現在世界17都市に展開。

(入居企業に対する支援の概要)

- 成長資金：自社のVC、外部のVC。（Tus Starは政府が一部出資するファンドを多数運営。）
- 成長トレーニング：外部の大手法律事務所と提携、一部無料で提供。複数のコースを実施。

(実績)

- サポート企業は5,000社を超え、うち27社が上場。300社に20億元程度投資。

(センター運営のモデル)

- コワーキングスペースの賃料は1,500元/デスク・月。
- 清華大学のx-lab（ベンチャー教育施設）と連携。x-labで優秀な企業をTus Starに推薦（推薦状を送り）、Tus Starの審査後1年間無料でTus Starのコワーキングスペースを借りられる。

(海外のVC、企業等との協力状況、意向)

- オーストラリアのニューサウスウェールズ大学・政府：インキュベーションセンター及びサイエンスパークの建設
- 英国ケンブリッジ、ニューカッスル：サイエンスパーク建設。ケンブリッジ大学側は、スペースを提供、Tus Holdings側は新たな建物の建設費用を捻出。



中国のベンチャーを支える①ヒト ②モノ ③カネ

3 カネ

活発なCVC、政府系基金の存在

カネ：活発なCVC

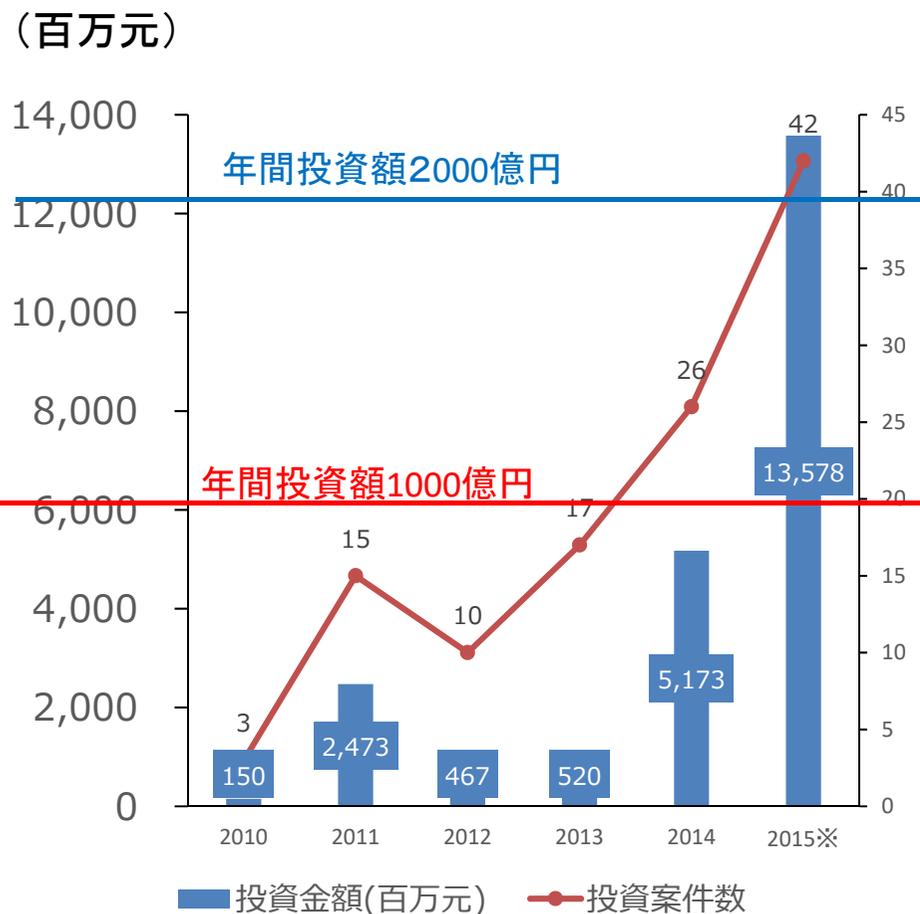


		主要投資分野	主要投資先
T	テンセント	ゲーム、文化エンタメ Eコマース	ジンドン、ディディ、 モバイク、 头条、饿了么
A	アリババ	Eコマース、 文化エンタメ	高德、口碑
B	バイドゥ	文化エンタメ、生活 Eコマース	愛奇艺、樂車、爱奇艺、 乐车邦、知我科技、 沪江网、万学教育
L	雷軍 (シャオミ等)	ハードウェア、 文化エンタメ	ofo、怪兽充电、爱丁医 生、发现旅行网、小站教 育、什马金融
E	周鴻禕 (360等)	PC関連ソフト ハードウェア ゲーム	安普诺科技、摩比神奇、 小忆机器人、蓝信工场、 司南物联
	ジンドン		饿了么、達達

活発なCVC テンセントの例



テンセント 騰訊産業共贏基金の投資状況



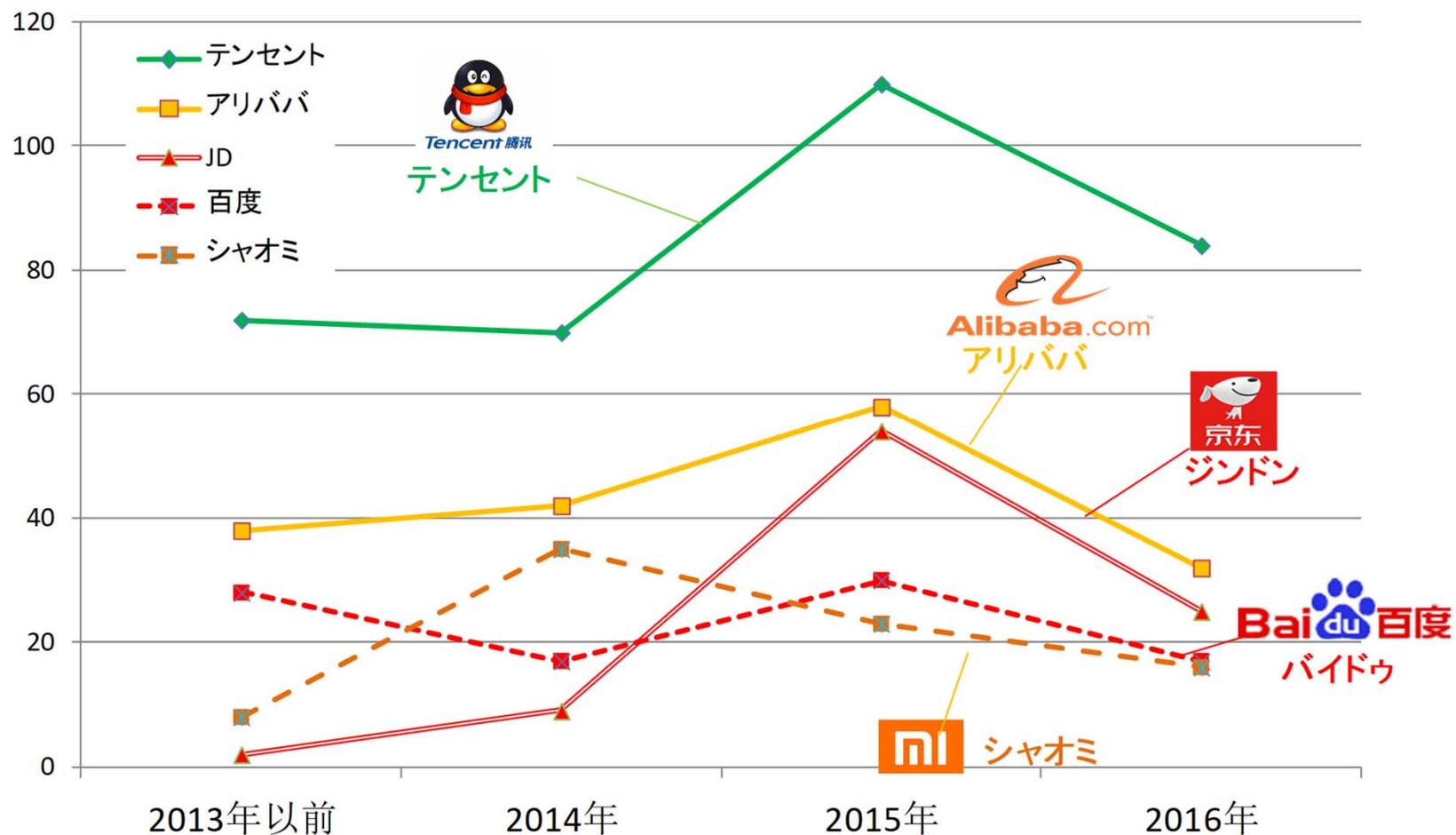
* 2015年は第1～3四半期

テンセント 騰訊産業共贏基金の主な投資先

投資先企業	投資先の業界	投資時期	投資額(百万ドル)
モバイク	シェア自転車	2016年10月	55
		2017年1月	200
		6月	600
			これらの内数
蔚来汽車	新エネ車	2015年9月	125
滴滴出行	無線インターネットサービス	2015年8月	429
荣昌e袋洗	電気通信及び付加価値業務	2015年6月	100
易車網	インターネット	2015年1月	150
易鑫資本	金融	2015年1月	150
滴滴出行	無線インターネットサービス	2014年12月	233
口袋購物	インターネット	2014年10月	145
開心網	インターネット	2011年10月	100
芸龍旅行網(e龍)	インターネット	2011年5月	84
ジンドン	ネット通販	2014年3月	—

中国の代表的CVC5社の投資件数の推移

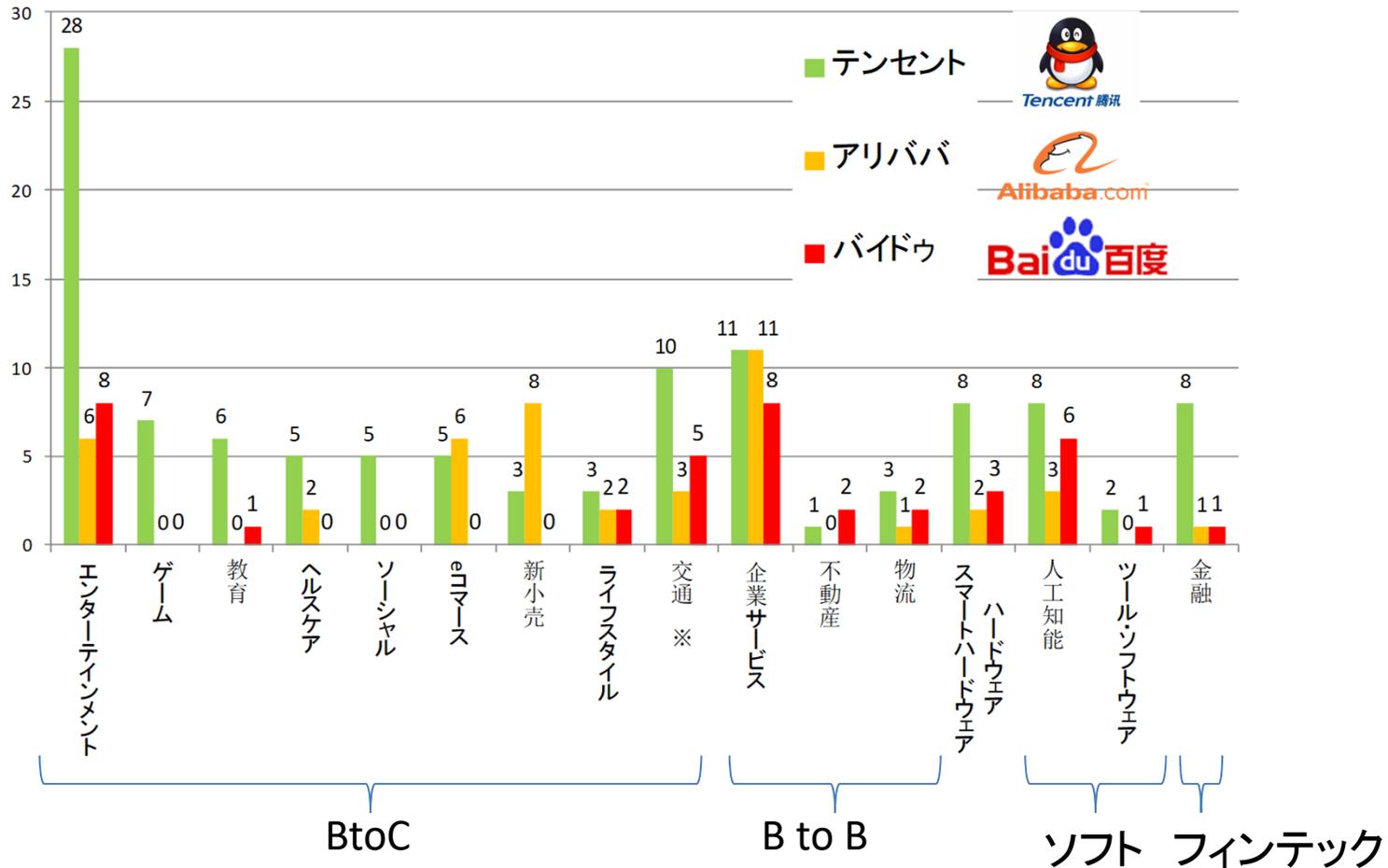
～ 2016年以降投資件数は減少傾向 ～



資料出所：

BATなどのCVCはどこに投資しているのか？

BAT3社の2017年のカテゴリー別の投資件数



注意 アリババは、関連会社の「アントファイナンス」を通じての投資が多いが、これは上記の数字に含まれていない。

注意2 資料の出所が異なるため、前出のCB Insightのユニコーン調査とカテゴリー分けが異なる。

例えば、この資料では「交通」に、新エネ自動車製造の「蔚来汽車 (nio)」やシェアリングの「滴滴」が含まれている。

「ケイレッツ化」されるベンチャー

新興自動車企業とそれに対する投資の事例



テンセント

- ・ ジンドン、セコイヤ等とともに等
22億ドル



蔚来汽車・NIO



2014年11月設立。
上海市に工場建設予定で土地を取得。



アリババ

- ・ 鴻海等とともに等
25億元(430億円)



小鹏 Xpeng



現在1700億円を投資して15万台/年の生産能力の工場を建設中。

「ケイレッツ化」されるベンチャー

新興自動車企業とそれに対する投資の事例

自動車メーカー		投資事例			
蔚来汽車 NIO 		2017年10月	10億ドル	テンセント等	2014年11月設立。 上海市に工場建設予定で土地を取得。
		2017年3月	6億ドル	バイドゥ、テンセント、等	
		2016年6月	1億ドル	テマセク、レノボ等	
		2015年9月	5億ドル	セコイア等	
		2015年6月	億元レベル	テンセント、ジンドン等	
小鹏汽車 Xpeng 		2018年2月	3億元	ホンハイ	現在1700億円を投資して15万台/年の生産能力の工場を建設中。
		2018年1月	22億元	アリババ、フォックスコン等	
		2017年12月	—	アリババ等	
威馬汽車 Weltmeister 		テンセントモビリティ等が投資。 投資時期、金額等不明。			
RoadStar AI 		2018年5月	1.28億ドル	双湖資本、深創投領 等	
		2017年6月	1千万ドル	エンジェル投資	
		2017年3月	会社設立		

「ケイレッツ化」されるベンチャー

BATの2017年の人工知能分野での投資

テンセント	工匠社科技	数千万元
	深セン優必選科技	4000万米ドル
	奇幻工房	4100万米ドル
	体素科技	億元級
	樂聚ロボット	5000万元
	雷鳥科技	4.5億元
	ObEN	500万米ドル
	雲迹科技	数千万米ドル
アリババ	商湯科技(セスタイム)	15億元
	Magic Leap	5億米ドル
	寒武紀(カンブリコン)	1億米ドル
	Video++	1.5億元
バイドゥ	甘来	1億元強
	声智科技	約1億元
	KITT.AI	1億元
	Xperception	N/A
	8i	2700万米ドル
	渡鴉科技	約1億米ドル

余談1

中国特有のビジネス環境

(2) 制度の柔軟な運用

- 政府が推進する事業領域、市民生活などに大きなメリットがあると考えられるもの、特別な事業者の場合には、法律的に明らかに違法な事業であっても取り締まられない場合がある。
- 成長が期待される事業については、事後的に関連の制度が整備され、合法化される（実質的なサンドボックス制度として機能する。）。ただし、事後的に取り締まられる場合もある。

シェア自転車



- 2016年に急速に普及
- 2017年5月にシェア自転車に関する制度が公表。
- ネット予約タクシーも2016年8月に制度整備、11月から実施。

小型電気自動車



- 法律的な位置づけがないまま急速に普及。
- 現在制度検討中。

小型自動配送車



(3) 政府から指導を受けることも

○ バイトダンスがサービスの一部停止を指示された例

- 2018年4月4日、10日に国家広播電視総局は文書を発出。
 - ① 今日頭条等がサイトで放映する社会道徳に反する番組などは<情報ネットワーク視聴節目許可証>を取得していない
 - ② 「今日頭条」のサービスに、低俗なコンテンツに誘導する等の突出した問題があることが発見されたので、「今日頭条」の“涵内段子”の公式アカウントを永遠に閉鎖するよう命じる。



- 4月11日に、今日頭条の創業者の張一鳴氏が謝罪文を掲載。
 - － 私は誠意をもって監督管理部門に対し謝罪し、ユーザー及び同僚達に対してお詫びする。
 - － 今日頭条は、‘涵内段子’のクライアントソフト及び公式アカウントを永遠に閉鎖する。この商品は道を行き間違えてしまい、社会主義の核心的な価値感にそぐわないコンテンツが出てしまった。
 - － 良い世論を貫徹することができなかったので処罰を受け入れます。

(3) 政府から指導を受けることも(続き)

○ テンセントの株価を引き下げたオンラインゲーム規制

- 2018年4月以降オンラインゲームのリリースに必要な審査を一時停止。
 - 8月には「モンスターハンターオンライン」の配信直後に配信停止
 - PUBGは有料アイテム販売の許可が遅れたため収益化が遅れる
- 2018年8月に中国政府は子供の長時間のネットゲームを問題視し、オンラインゲームに一定の規制をかけることと、オンラインゲームの総量コントロールを実施することを表明。
- 2018年10月にテンセントの動画配信プラットフォーム「闘魚（douyu）」の配信が一時停止。その後「投げ銭」機能が廃止された簡易版が配信された。

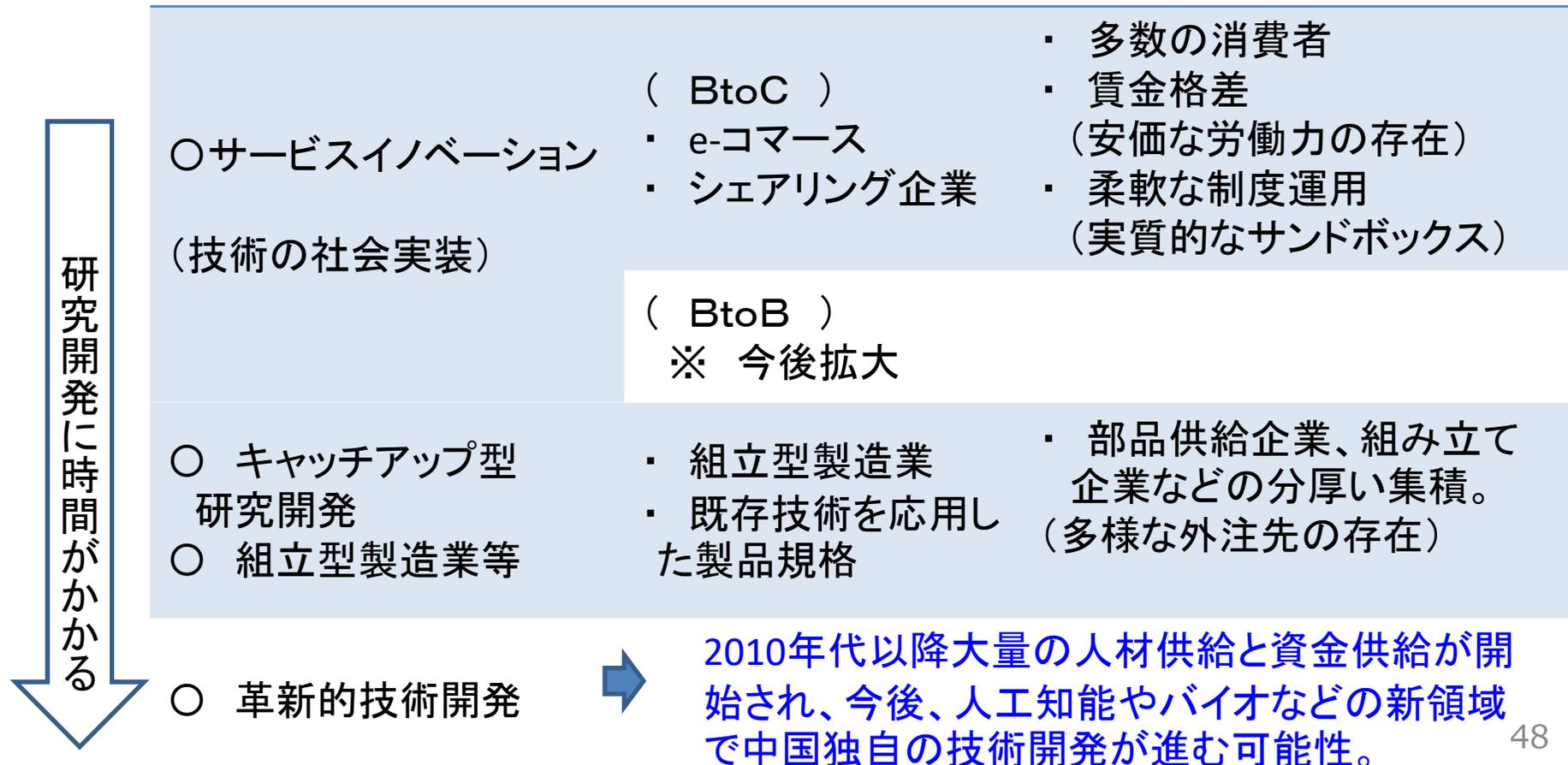
テンセントの株価の推移



中国の得意なイノベーションとは？

- 外国人の中には、「中国のイノベーションは、真の技術的なイノベーションではない」「中国は独自のイノベーションは苦手である」とコメントする者がいる。
- 「独自のイノベーション」を「研究開発、実用化に時間がかかるイノベーション」と置き換えるなら、2010年ごろから人材供給が強化され、資金が潤沢に提供されるようになってきていることから、今後革新的なイノベーションが増える可能性がある。

中国特有の背景



まとめ1 中国ベンチャーの状況



中国のベンチャー企業は爆発的に増加

- 政府のベンチャー支援の方針「大衆創業、万衆創新」

世界で存在感をます中国の「独角獣」は「B to C」に多い

- 14億の人口、7億人の4G携帯ユーザーが巨大なB to Cマーケットを作り出す
- モバイル決済の普及が、シェアリングビジネスなどの多様な新ビジネスを支えるプラットフォームに
- 近年ではAIやB to Bなどの分野でもユニコーンが増加。

中国のベンチャーを支えるヒト、モノ、カネ

- ヒト 毎年700万人の大卒者、126万人が海外に留学
 - モノ 創業空間は2014年から2016年に4000か所に
 - カネ 政府主導のベンチャーファンド、活発なCV
- 2010年代から人材供給が増加し金回りがよくなったことでベンチャー育成の環境が整う

中国ベンチャーのテックイノベーションは、サービスイノベーション中心、ただし今後技術的に重要なイノベーションが中国企業が起こす可能性も

エンジェル投資などはやや投資がしぼりぎみ

- 骨太で技術力のあるベンチャーに投資が集中

BAT等のITジャイアントを中心にCVCの存在感が増す

- 有望なベンチャーの資金調達源に
- 中長期的な研究開発が必要なベンチャーに資金が行き渡る可能性。
- 有力ベンチャーの「ケイレツ化」がすすむ
- 独立系のベンチャーが育ちにくい弊害もあるか？

いろいろな業界に既存事業者が存在

- 以前のようには新たな市場に事業者が巨大なビジネスを構築することは困難に
- 起業家や事業者の間のネットワークがより重要に

< 2017年までの変化 >

直感的にわかりやすいものが多い

① B to Cサービスでの革新

- シェアリング、決済など消費者が利用できてわかりやすいもの



② ハードウェア

- 深センのハードウェア系スタートアップ



< 最近増えている変化 >

消費者に見えにくい重要な変化が増えた

① B to Bサービスなど

- ロジスティクスの効率化などの企業が増加

② AI、バイオなど

- スタートアップではAI関係のユニコーン企業が増加
- バイオのユニコーン企業も登場
- ブロックチェーン関連ベンチャーが急拡大

NEDO北京事務所

○北京市朝陽区建国門外大街26号

(天安門広場から東に2km)

長富宮 オフィス棟2階

○ 電話番号

+86-10-6526-3510



地図: 百度地図